

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	こどもヶ丘保育園根岸園
活動日時	令和7年9月1日
クラス名(年齢)	きりんぐみ(4歳児)、らいおんぐみ(5歳児)
年間テーマ	色

1.活動テーマ

〈テーマ〉

寒天でゼリーを作ろう

〈テーマの設定理由(子どもの姿)〉

前回のゼリーの出来あがりに納得できていない子が多かった。

子どもたちと話し合い、再挑戦をすることになった。

今回は寒天だけで作りたいという意見が多かった。

2.活動スケジュール

- ・13名参加。1グループ3～4人ずつの5グループで行う。
- ・色水が入っているコップに好きな量の寒天を入れ、タライで冷やす。

3.環境をデザインする

- ・今回は、寒天のみを用意する。寒天の量によって、ゼリーの硬さは変わるのか試せるように、子ども達が寒天の量を意識できるようにする。


4. 探求活動の実践

〈活動内容〉

固めたい色の色水を作る。寒天が入っているプラコップに、コップに引いてある線まで色水を入れる。

タライは水のみ、水と氷、水と氷と塩の3つのタライから選んで冷やす。冷やした後、出来たゼリーで感触遊びを楽しむ。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

子どもの言葉・姿	写真
<p>・園で行った活動の様子を保護者に伝えた子どもは、「お家でお母さんが、あまり冷たくない方がいいって言った。」と言い、水のみで冷やす。</p> <p>・コップに引いている線よりたくさん色水を入れたり、冷やすタライの水の温度を指で確かめた際に冷やしているコップを倒しコップに氷水が入ったりすると、「うすくなったかも?」と気付く子もいた。</p> <p>・コップに水が入った3名と最後に冷やし始めた2名のみ、固まらなかった。その他の11名は固まった。固まらなかった子どもは、引き続き午睡明けまで冷やしたが固まらず、水と色水に分離した。</p> <p>しっかりと固まり、「硬くて取れないよ!」と喜ぶ子もいた。</p> <p>・帰りの会で結果を知らせ、寒天を作るための必要な条件は何かを問いかけた。</p> <p>「冷やす時間が足りなかった。」 「おやつまで冷やそう。」 「タライに入れる時にコップを倒してしまったから?」 「蓋つきのコップにしよう。」 「運じゃない?」「神社にお参りに行こう。」 「暑くてお散歩にはいけないし、保育園の中には神社はないね。」 「じゃあ、作りたい!ゼリーの神様!」</p>	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

今回はほとんどの子の色水が固まり、成功し喜んでいたので良かった。

水の冷たさ・寒天の量・冷やす時間等、子ども達が繰り返し試せたことにより、疑問に思ったことを工夫してみる楽しさを味わえたように思う。

「色水がしっかりと固まる為にはどうしたらよいか」という話し合いでは、子どもたちから神頼みのような意見が出た。その際に神社を作るという案が出た為、近々神社を作る活動を取り入れていきたい。